

作事組だより

第 125 号 (2023年6月号)
一般社団法人 京町家作事組
〒604-8241
京都市中京区三条通新町西入釜座町32
Tel 075-252-0392 Fax 075-252-2392
E-mail: kyomachiya@sakujigumi.com
事務局開局時間: (月)9:30-12:30
(火・木・金)9:30-16:30(祝祭日を除く)

【京町家作事組代表理事ごあいさつ】

今年度より京町家作事組の代表理事を務めさせていただくことになりました、大下工務店の大下尚平と申します。日頃より京町家作事組の活動や運動にご理解とご協力をいただいておりますこと御礼申し上げます。

第一期京町家棟梁塾を経て15年前にこの京町家作事組の施工担当としてご縁をいただき、現在の事務局である釜座町町家をはじめ様々な京町家改修工事を担当させていただきました。当時、京町家再生研究会のもと、京町家友の会の皆さまや京町家情報センターの皆さまとともに、京町家ネットとして『京町家を守り建てられるようにする』という理念を基に活発な活動や運動が行われており、感銘を受けまして現在まで参画させていただいております。

この度、しばらく休止しておりました“作事組だより”を4年ぶりに発行し、これからも皆さまへお届けさせていただくことで京町家作事組の状況を知っていただき、皆さまとの交流の機会も増やしていくことで全体の活性化に繋げていきたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

【事務局ごあいさつ】

昨年6月より作事組事務局を担当しております阿部景子と申します。学芸出版社に勤務するお友達の紹介で勤務することになりました。山形→東京→イタリア→スペインを経て、2011年から京都の町家住まいです。実は、京都に引っ越すなら町家に住んでみたいと思い、情報センターの『住みたい町家を探しに行こう』というイベントに参加し、町家暮らしが始まりました。また偶然にも、今住んでいる町家は作事組が約20年前に改修した物件ということにもご縁を感じております。1軒でも多くの町家を良好に再生し、次の時代に繋げていけますよう微力ながら尽力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

作事組では、残念ながら取り壊された町家から救出してきた建具や古道具などを再利用していただける方を探しております。インスタグラムに写真が載っておりますので、ご覧ください。

もちろん取付・設置・建合せ・灰汁洗い・古色塗り等も行いますので、気になるものがございましたらお問合せください。

【QRコード】
作事組Instagram



【京町家作事組 イベントスケジュール】

今年は昨年に引き続き釜座町家を活用したイベントを企画しています。

作事組だよりの復刊に合わせて情報やイベントの内容をお知らせしますので、皆様ぜひ釜座町家へお越しください。また、イベントの内容はHP、SNS、YouTubeを通じて発信します。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 6月 町家のお庭の手入れを学ぼう | ※前栽のお手入れを庭師と実践を交えて学びます。 |
| 7月 町家で祇園祭を堪能しよう | ※企画展示や屏風などを飾ります。 |
| 9月 町家で講談を聞こう | ※講談師さんのお話をお座敷で堪能します。 |
| 11月 町家で将棋イベント | ※町家で将棋イベントを開催します。 |
| 12月 町家で餅つき大会 | ※町家の土間で餅つきをしてみんなで食べよう。 |

ぜひ釜座町家にお越しいただき、町家の良さに触れながら楽しんでください。

※企画の変更の場合は事前にお知らせいたします。

【京町家再生研究会ごあいさつ】

京町家作事組は京町家再生研究会の活動のなかから、町家改修の実践を担う団体として設立され、実際の改修の相談に対応しながら、会員相互の技術や知識の研鑽、法的課題への共同の取り組み、伝統工法による改修の普及啓発などを目的として活動し、関係諸団体の協力のもと、相談件数も増え、一定の成果を挙げてきました。近年は営利組織としての側面に重点を移し、これまでのような再生研との連携体制を離れ、独自の活動をすすめられているものと理解しています。

一方、釜座町町家の町家再生拠点としての活用についてはこれまで同様、再生研と相互協力する体制にあり、それ以外にも再生研に対し、さまざまな御支援をいただいていることに感謝申し上げます。

今後とも、京町家作事組が、市民の信頼のもと、活動を発展させていくことを祈念申し上げます。
(特定非営利活動法人 京町家再生研究会 内田康博)

【京町家情報センターごあいさつ】

京町家情報センター事務局長のスティーブン ホアンと申します。台湾出身です。2021年から約2年半事務局として活動してきました。2002年4月に設立された京町家情報センターは、地元の不動産業者と共に京町家の保全再生を目的とし、京町家をどう不動産流通の中で保全再生していくかを検討してきました。設立以来、共に京町家の保全再生を検討してきた、京町家の保全再生に関心の深い不動産業者と共に活動しております。2023年6月現在、25社の不動産業者が京町家情報センターの会員として登録されています。

我々の活動の中では、「京町家作事組」とも協働して動いております。最近の事例では、所有者様より作事組に改修の相談があり、活用について京町家情報センターに相談をいただきました。以前飲食店に改修されていた町家でした。所有者様のご希望としては、1階を店舗で貸し出し、2階を親族の住居にできないかという相談でした。この事例では京町家情報センターは、所有者様のご希望をお聞きしながら、①京町家作事組、各工務店との調整。②2階と1階の基礎工事のプランニング。③1階店舗の募集、賃貸契約の3つの仕事をさせていただきました。この京町家の1階は、東京麻布とニューヨークで営業されていますワイン屋さんの3店舗目としてお借りいただき、現在ご繁盛中となっております。

今後、有効活用を検討している京町家をお持ちで、まだ検討段階・色々下調べをしているところということでも結構ですので、ぜひお気軽にご相談ください。（※相談は事前予約制）



before

→



after

【作事組会員紹介】

設計：AtSpace Architects、内田康博建築研究所、坂爪寛人建築設計事務所、

末川協建築設計事務所、冨家建築設計事務所、井澤建築設計事務所、まちづくり舎

施工：(株)アラキ工務店、(株)大下工務店、(株)熊倉工務店、(株)小林工務店、(株)辻工務店、堀工務店、

(株)安井奎工務店、翁左官工業、(有)さくあん、光本瓦店(有)、営繕西出、西山瓦工業、

株式会社堤瓦商店、(株)ホリテック、安木電気商会、(株)イマエ、洗い屋神門、京表具小野澤、

(有)サワベ、若林愿鴻堂、(株)マツモト、中西畳商、尾崎ガス住宅設備(株)、(株)神田設備、

(株)ストロベリーセブン、のり京、植新 駒井造園、(株)梅鉢園

賛助：(株)学芸出版社